

2013年4月18日 全7頁

Indicators Update

3月貿易統計

輸出数量にも下げ止まりの兆し

経済調査部
エコノミスト 橋本政彦

[要約]

- 2013年3月の貿易統計では、輸出金額は前年比+1.1%と、2ヶ月ぶりの増加となり、市場コンセンサス（同+0.2%）を上回った。輸出金額を価格と数量に分けて見ると、輸出数量が前年比▲9.8%と10ヶ月連続の前年割れとなる一方で、円安の効果により輸出価格が前年比+12.1%と大幅に上昇しており、輸出価格の上昇が輸出金額を押し上げるという構図が続いている。
- 輸出数量指数（大和総研による季節調整値）を地域別に見ると、主要輸出先である、米国向け、EU向け、アジア向けの全てが前月から増加しており、全体としては前月比+4.2%と3ヶ月ぶりの増加となった。アジア向けに関しては、2月が春節によって押し下げられていた反動もあるとみられるが、欧米向けも増加しており、総じて良い内容。輸出数量は、下げ止まりつつあるといえるだろう。
- 輸出の先行きに関しては、これまで低迷が続いてきた輸出数量が持ち直していくことで、増加基調となると見込んでいる。景気後退が続くEU向け輸出数量は当面低調に推移する見込みだが、緩やかな景気拡大が続く米国向けがけん引役となる見込み。アジア向けに関しては、中国経済の回復は緩やかなものに留まっているものの、景気が堅調に推移するASEAN向けを中心に増加基調となる見通しである。また、為替の減価が輸出数量を押し上げるには半年程度のラグがあるため、海外経済の回復に加えて、昨年末からの円安の効果が徐々に顕在化することが輸出数量増加の支援材料となるだろう。

貿易統計の概況（原系列、前年比、%）

	2012年			2013年					
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
輸出金額	▲8.1	▲5.8	▲10.3	▲6.5	▲4.1	▲5.8	6.3	▲2.9	1.1
コンセンサス									0.2
DIR予想									3.2
輸入金額	2.3	▲5.2	4.2	▲1.5	0.9	1.9	7.1	11.9	5.5
輸出数量	▲10.3	▲4.3	▲11.1	▲8.1	▲7.5	▲12.2	▲5.9	▲15.8	▲9.8
価格	2.4	▲1.6	0.9	1.7	3.6	7.3	13.0	15.3	12.1
輸入数量	▲0.6	▲2.1	4.3	▲1.0	▲0.9	0.0	▲1.1	▲0.1	▲5.5
価格	▲4.5	▲3.2	▲0.0	▲0.5	1.8	1.9	8.3	12.1	11.7
貿易収支	▲5,286	▲7,684	▲5,682	▲5,562	▲9,570	▲6,457	▲16,335	▲7,795	▲3,624

(注1) 貿易収支は億円。

(注2) コンセンサスはBloomberg。

(出所) 財務省、Bloombergより大和総研作成

輸出数量にも下げ止まりの兆し

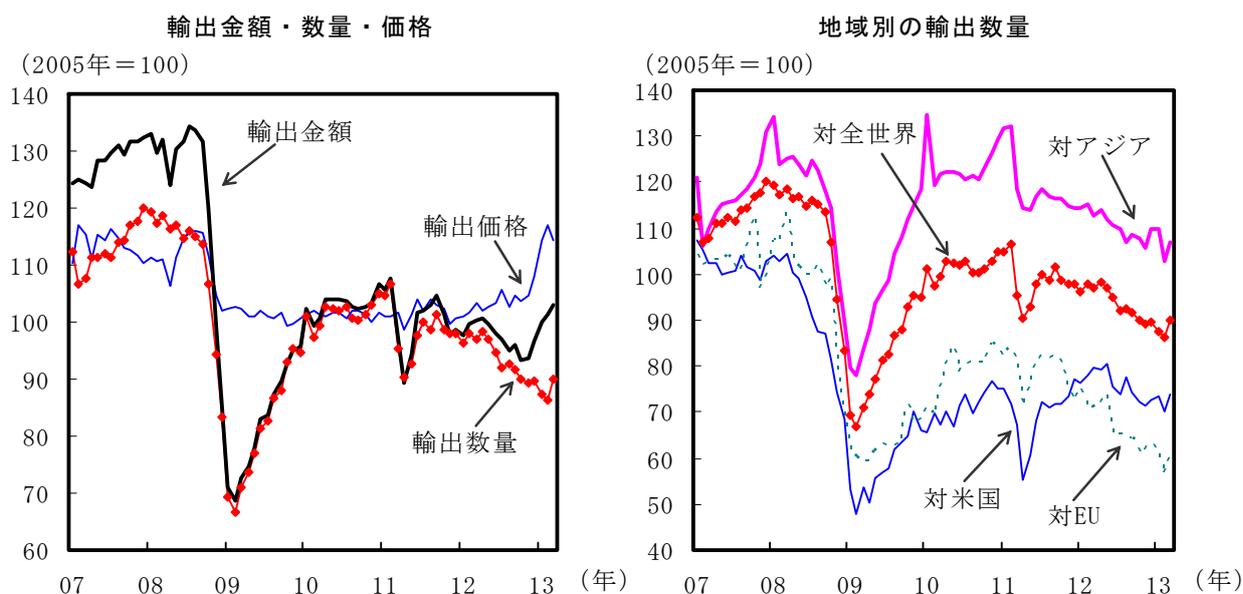
2013年3月の貿易統計では、輸出金額は前年比+1.1%と、2ヶ月ぶりの増加となり、市場コセンサス（同+0.2%）を上回った。輸出金額を価格と数量に分けて見ると、輸出数量が前年比▲9.8%と10ヶ月連続の前年割れとなる一方で、円安の効果により輸出価格が前年比+12.1%と大幅に上昇しており、輸出価格の上昇が輸出金額を押し上げるという構図が続いている。輸出金額の季節調整値を見ると前月比+1.6%と5ヶ月連続の増加となり、持ち直しが続いている。

輸出数量指数（大和総研による季節調整値）を地域別に見ると、主要輸出先である、米国向け、EU向け、アジア向けの全てが前月から増加しており、全体としては前月比+4.2%と3ヶ月ぶりの増加となった。アジア向けに関しては、2月が春節によって押し下げられていた反動もあるとみられるが、欧米向けも増加しており、総じて良い内容。輸出数量は、下げ止まりつつあるといえるだろう。

3月の輸入金額は、前年比+5.5%と5ヶ月連続で前年を上回った。輸入数量は前年比▲5.5%と減少したものの、円安によって輸入価格が同+11.7%と上昇したことが輸入金額を押し上げた。この結果、貿易収支は▲3,624億円と、9ヶ月連続の赤字となった。貿易収支を季節調整値で見ても、▲9,220億円となり、前月から赤字幅は縮小したものの赤字傾向が続いている。

なお、当月の貿易統計を受けてGDPベースの輸出入を暫定的に推計したところ、2013年1-3月期は、実質輸出、実質輸入ともに前期比+2%程度の増加となり、外需（純輸出）寄与度は+0.2%pt程度となる見込みである。

輸出金額・価格・数量と地域別輸出数量の推移（季節調整値）



(注) 季節調整は「輸出金額」が財務省、他は大和総研。
(出所) 財務省統計より大和総研作成

アジア向け素材輸出の増加が輸出金額を押し上げ

輸出金額（前年比）を主要商品別にみると、化学製品、原料別製品の増加が輸出金額を押し上げた。

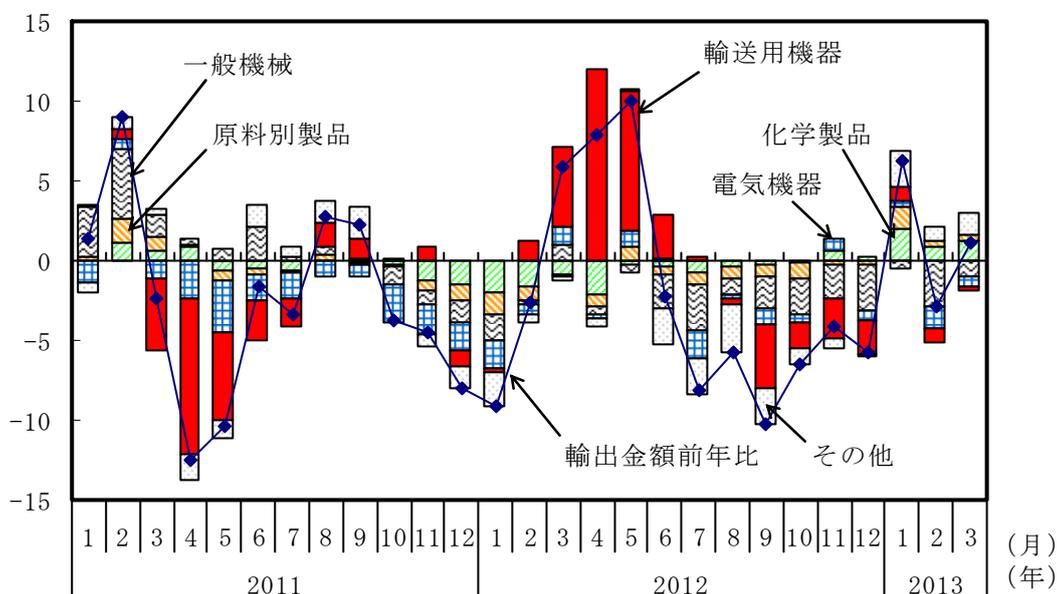
化学製品は前年比+12.7%と5ヶ月連続の増加となった。地域別に見ると、米国、EU、アジア向けの全てが増加しており、総じて堅調な推移が続いている。特に化学製品輸出の7割強を占めるアジア向けが、前年比+14.7%と高い伸びとなったことが全体を押し上げた。

原料別製品は、前年比+3.3%と3ヶ月連続の増加となった。米国向け（前年比▲2.1%）、欧州向け（同▲11.4%）は減少したものの、アジア向け（同+6.3%）の増加が全体を押し上げた。なかでもASEAN向けの「鉄鋼」および「非鉄金属」が、いずれも5ヶ月連続で増加しており堅調を維持している。

なお、3月に前年比で輸出金額が減少した一般機械、電気機器、輸送用機器に関しても、減少幅は2月から縮小しており、全体として持ち直しの動きがみられている。一般機械、輸送用機器に関しては、アジア向け、EU向けでは前年割れが続く一方で、米国向けの増加が下支えとなっている。電気機器に関しては、「半導体等電子部品」の増加を主因にNIEs向けが2ヶ月ぶりの増加となったことが持ち直しに寄与した。

輸出金額の商品別内訳

（前年比、%、%pt）



（注）その他は「食料品」、「鉱物性燃料」、「原料品」、「その他」の合計。

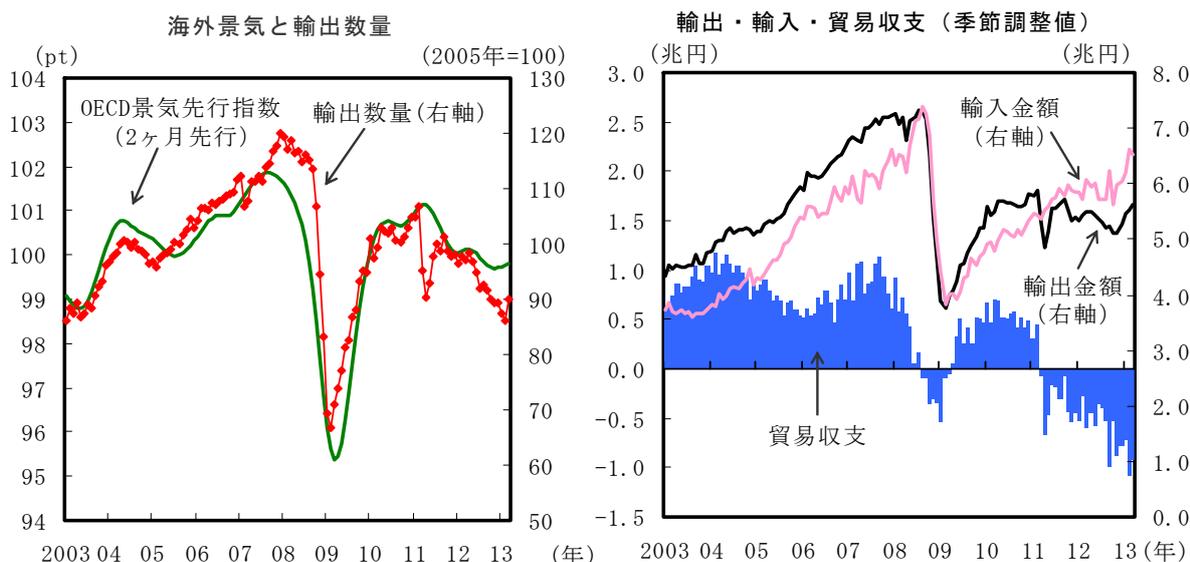
（出所）財務省統計より大和総研作成

輸出数量は次第に持ち直しへ、貿易赤字は当面続くも赤字幅は徐々に縮小

輸出の先行きに関しては、これまで低迷が続いてきた輸出数量が持ち直していくことで、増加基調となると見込んでいる。景気後退が続くEU向け輸出数量は当面低調に推移する見込みだ

が、緩やかな景気拡大が続く米国向けがけん引役となる見込み。アジア向けに関しては、中国経済の回復は緩やかなものに留まっているものの、景気が堅調に推移する ASEAN 向けを中心に増加基調となる見通しである。また、為替の減価が輸出数量を押し上げるには半年程度のラグがあるため、海外経済の回復に加えて、昨年末からの円安の効果が徐々に顕在化することが輸出数量増加の支援材料となるだろう。LNG 等のエネルギーの輸入数量の高止まりから貿易収支は赤字傾向が定着しており、貿易収支の黒字化は当面見込めないが、輸出数量が増加に向かうのに伴って、赤字幅は徐々に縮小していくと見込んでいる。

海外景気と輸出数量、貿易収支



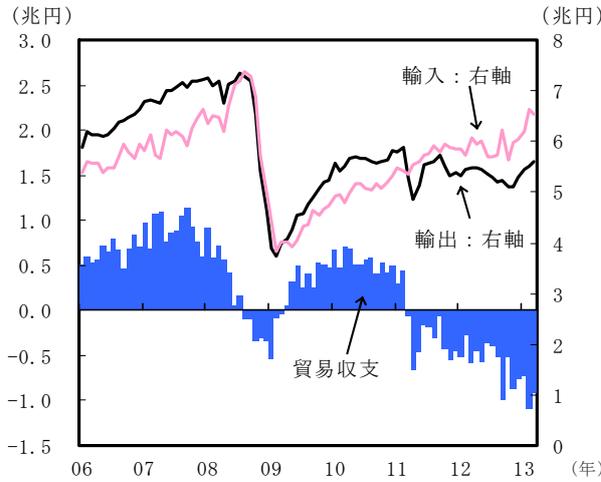
(注1) OECD景気先行指数(CLI)はOECD諸国とBRICsなど非加盟6ヶ国を集計したベース。

(注2) 輸出数量の季節調整は大和総研。

(出所) 財務省、OECD統計より大和総研作成

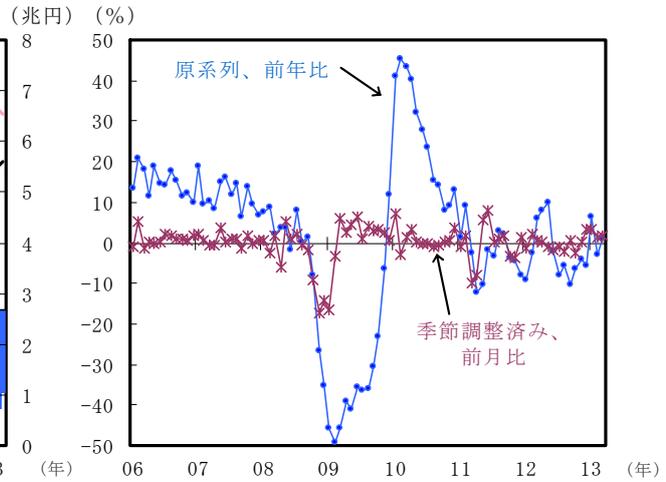
概況

輸出入と貿易収支 (名目、季節調整値)

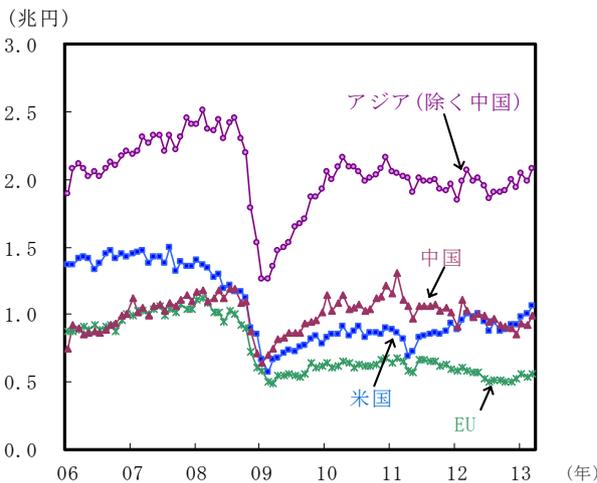


(出所) 財務省統計より大和総研作成

輸出額の変化率 (名目)

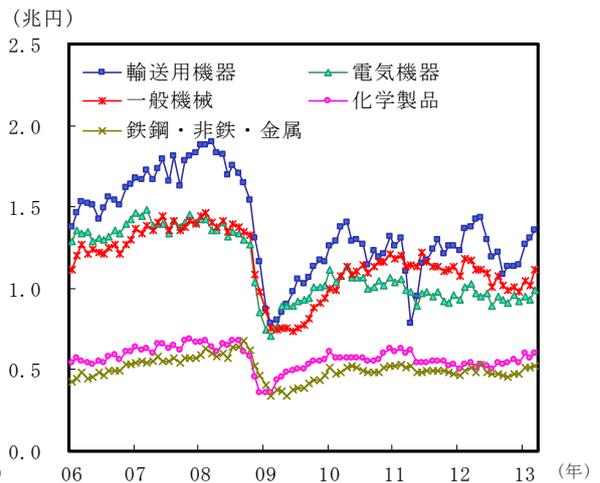


主要地域・国別の輸出額 (名目、季節調整値)



(注) 季節調整は大和総研。
(出所) 財務省統計より大和総研作成

主要商品別の輸出額 (名目、季節調整値)

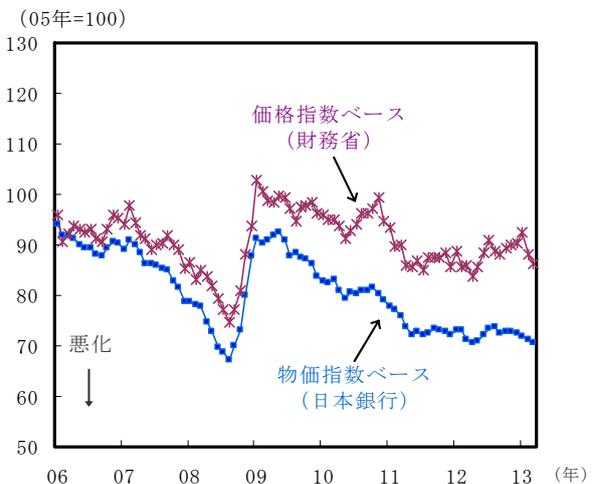


為替相場



(注) 交易条件は、輸出価格指数/輸入価格指数 (輸出物価指数/輸入物価指数)。
(出所) 財務省、日本銀行統計より大和総研作成

交易条件



輸出金額 内訳								
	2012/10	2012/11	2012/12	2013/01	2013/02	2013/03		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲6.5	▲4.1	▲5.8	6.3	▲2.9	1.1	100.0	1.1
食料品	11.0	1.4	▲3.5	27.2	2.3	13.8	0.6	0.1
原料品	22.1	10.3	18.9	25.1	14.8	21.5	2.0	0.4
鉱物性燃料	▲31.7	▲10.0	6.4	14.2	17.9	38.9	1.8	0.5
化学製品	▲1.7	6.5	2.5	20.0	9.1	12.7	10.7	1.2
原料別製品	▲7.2	▲2.4	▲2.1	10.5	3.4	3.3	13.6	0.4
鉄鋼	▲9.7	▲4.3	▲1.6	3.1	5.6	0.1	5.5	0.0
非鉄金属	▲8.6	4.7	7.5	38.6	11.8	9.8	2.3	0.2
金属製品	▲1.1	3.4	▲1.9	13.1	▲1.3	4.3	1.6	0.1
一般機械	▲11.3	▲10.3	▲13.3	▲2.7	▲13.4	▲4.7	20.4	▲1.0
電気機器	▲2.5	4.6	▲3.3	2.5	▲7.6	▲3.4	17.1	▲0.6
半導体等電子部品	4.1	8.5	▲4.5	1.1	▲9.8	▲0.4	4.9	▲0.0
I C	10.0	9.3	▲3.9	3.8	▲9.2	2.1	3.3	0.1
映像記録・再生機器	▲11.9	40.7	▲2.1	▲23.6	▲39.0	▲35.9	0.8	▲0.5
音響・映像機器の部分品	▲0.4	8.1	2.8	▲2.4	▲10.4	▲22.5	0.5	▲0.1
電気回路等の機器	▲3.1	0.6	▲2.4	▲0.4	▲7.7	6.6	2.5	0.2
輸送用機器	▲7.2	▲10.1	▲9.5	3.3	▲3.6	▲1.2	22.8	▲0.3
自動車	▲12.3	▲5.2	▲6.6	2.1	▲5.3	▲3.4	13.4	▲0.5
自動車の部分品	▲0.8	▲2.5	▲7.3	14.3	1.5	0.7	4.9	0.0
その他	▲5.8	▲4.7	▲4.0	13.3	3.7	3.8	11.1	0.4
科学光学機器	▲1.5	0.2	▲0.5	9.7	▲4.6	8.9	3.2	0.3

米国向け輸出金額 内訳								
	2012/10	2012/11	2012/12	2013/01	2013/02	2013/03		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	3.1	5.3	▲0.8	10.9	5.7	7.0	100.0	7.0
食料品	▲2.9	23.8	1.7	12.2	▲2.7	3.2	0.5	0.0
原料品	▲6.7	62.5	105.1	▲39.6	▲21.5	20.6	0.6	0.1
鉱物性燃料	▲49.0	▲88.3	15.8	▲2.5	125.4	▲85.2	0.0	▲0.2
化学製品	▲4.4	9.2	0.6	16.7	17.5	10.7	5.6	0.6
原料別製品	6.8	▲4.1	▲4.5	12.8	1.4	▲2.1	7.6	▲0.2
鉄鋼	11.6	▲21.5	▲8.2	▲2.5	▲8.4	▲12.9	2.1	▲0.3
非鉄金属	9.4	▲7.2	▲30.8	10.5	▲10.4	▲18.7	0.5	▲0.1
金属製品	10.2	11.9	14.7	29.0	8.5	13.4	2.0	0.3
一般機械	2.5	0.8	▲6.7	4.4	5.8	14.1	25.4	3.3
電気機器	▲1.6	13.3	7.4	10.5	9.5	▲0.7	15.9	▲0.1
半導体等電子部品	▲4.0	4.8	▲1.5	4.1	7.2	15.4	2.2	0.3
I C	▲7.1	▲1.8	1.4	20.4	4.0	12.5	1.3	0.2
映像記録・再生機器	▲9.8	12.3	▲14.8	▲11.0	▲30.9	▲56.2	0.9	▲1.3
音響・映像機器の部分品	▲16.9	▲16.3	▲1.4	▲25.0	▲3.8	▲54.1	0.3	▲0.3
電気回路等の機器	6.4	5.5	18.3	16.1	6.9	20.6	1.8	0.3
輸送用機器	7.9	9.6	▲0.0	16.0	2.8	6.1	34.5	2.1
自動車	4.8	5.2	▲1.3	10.5	▲3.4	3.0	23.0	0.7
自動車の部分品	7.6	25.9	▲1.5	29.9	15.2	6.7	7.3	0.5
その他	1.2	▲3.5	▲3.3	6.9	10.1	14.2	9.9	1.3
科学光学機器	▲20.2	▲6.5	▲11.8	7.3	12.5	11.3	2.4	0.3

EU向け輸出金額 内訳								
	2012/10	2012/11	2012/12	2013/01	2013/02	2013/03		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲20.1	▲19.9	▲11.1	▲4.5	▲9.6	▲4.7	100.0	▲4.7
食料品	▲0.6	▲9.9	▲7.2	22.9	7.5	6.5	0.2	0.0
原料品	55.0	▲13.4	5.5	17.6	9.6	11.2	1.5	0.1
鉱物性燃料	21.1	▲4.6	▲14.7	374.7	18.2	164.3	1.4	0.8
化学製品	▲15.7	▲8.1	▲9.2	0.5	6.2	1.9	9.8	0.2
原料別製品	▲12.7	▲12.3	▲4.4	▲9.0	▲21.7	▲11.4	8.0	▲1.0
鉄鋼	▲4.7	▲26.4	27.8	▲36.7	▲33.4	▲2.3	1.1	▲0.0
非鉄金属	11.6	13.3	▲18.3	▲19.1	▲64.3	▲36.0	1.1	▲0.6
金属製品	15.9	8.8	15.2	20.8	▲10.6	▲11.6	1.6	▲0.2
一般機械	▲14.8	▲16.9	▲15.2	2.7	▲9.0	▲4.2	27.1	▲1.1
電気機器	▲15.6	▲1.3	▲2.2	▲1.4	▲3.6	▲7.7	20.4	▲1.6
半導体等電子部品	▲37.0	▲25.7	▲9.6	0.5	▲8.8	▲2.3	2.8	▲0.1
I C	▲18.5	▲16.5	▲2.1	17.8	14.3	13.7	1.8	0.2
映像記録・再生機器	0.5	43.7	27.2	▲30.8	▲38.2	▲23.4	2.1	▲0.6
音響・映像機器の部分品	13.2	47.7	40.5	45.6	31.7	16.1	0.7	0.1
電気回路等の機器	▲17.4	▲3.0	▲7.1	4.7	3.3	11.9	2.0	0.2
輸送用機器	▲34.7	▲34.6	▲18.1	▲10.6	▲25.8	▲0.3	18.8	▲0.0
自動車	▲43.6	▲21.4	▲34.8	▲10.8	▲23.4	▲10.0	8.0	▲0.8
自動車の部分品	▲3.1	▲14.5	▲10.6	9.5	▲11.7	▲10.3	5.8	▲0.6
その他	▲20.5	▲28.9	▲9.7	▲13.1	3.8	▲14.6	12.8	▲2.1
科学光学機器	▲31.1	▲21.0	▲17.9	▲9.4	▲9.1	▲8.0	3.8	▲0.3

(出所) 財務省統計より大和総研作成

アジア向け輸出金額 内訳								
	2012/10	2012/11	2012/12	2013/01	2013/02	2013/03		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲5.0	▲2.5	▲5.7	8.4	▲5.2	0.3	100.0	0.3
食料品	12.6	▲5.0	▲2.9	31.0	4.6	14.8	0.8	0.1
原料品	23.0	12.6	15.3	33.8	16.9	22.2	3.0	0.5
鉱物性燃料	▲23.7	▲5.5	2.0	25.1	20.3	4.7	2.1	0.1
化学製品	▲0.3	8.3	5.3	23.6	9.5	14.7	15.0	1.9
原料別製品	▲11.6	▲1.2	▲0.0	13.7	4.3	6.3	17.3	1.0
鉄鋼	▲16.1	▲0.7	1.7	7.9	6.6	5.2	7.6	0.4
非鉄金属	▲14.7	3.3	6.1	43.7	15.4	15.5	3.7	0.5
金属製品	▲6.7	▲0.2	▲7.4	7.3	▲1.3	2.3	1.8	0.0
一般機械	▲12.0	▲14.1	▲14.8	▲6.6	▲20.6	▲12.4	19.4	▲2.8
電気機器	0.5	4.4	▲5.7	1.6	▲12.2	▲2.6	20.6	▲0.6
半導体等電子部品	8.9	11.4	▲4.4	1.4	▲11.0	▲0.8	7.6	▲0.1
IC	12.9	11.3	▲4.5	2.0	▲11.5	0.8	5.4	0.0
映像記録・再生機器	▲13.2	60.6	▲2.8	▲21.7	▲40.4	▲24.2	0.8	▲0.2
音響・映像機器の部分品	▲12.2	3.4	▲11.3	▲17.0	▲27.4	▲34.0	0.5	▲0.3
電気回路等の機器	▲1.5	0.4	▲5.4	▲3.6	▲10.5	6.2	3.5	0.2
輸送用機器	▲14.2	▲23.4	▲24.8	▲8.9	▲14.7	▲9.0	8.6	▲0.9
自動車	▲31.5	▲35.0	▲23.2	▲18.6	▲24.2	▲19.1	3.7	▲0.9
自動車の部分品	▲9.6	▲15.3	▲12.6	9.5	1.9	1.4	4.0	0.1
その他	5.2	6.4	▲0.2	23.6	4.8	6.6	13.2	0.8
科学光学機器	8.9	6.6	5.1	18.1	▲4.2	14.5	4.1	0.5

中国向け輸出金額 内訳								
	2012/10	2012/11	2012/12	2013/01	2013/02	2013/03		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲11.7	▲14.5	▲15.9	2.9	▲15.9	▲2.5	100.0	▲2.5
食料品	49.4	▲28.9	▲19.9	▲11.5	▲10.0	48.9	0.4	0.1
原料品	26.6	14.1	18.7	43.0	13.9	17.7	4.6	0.7
鉱物性燃料	▲8.5	0.9	▲54.1	▲19.3	34.2	5.5	0.9	0.0
化学製品	3.5	3.8	▲0.3	38.6	12.4	16.3	16.0	2.2
原料別製品	▲17.6	▲19.2	▲12.9	6.5	▲16.4	2.2	13.9	0.3
鉄鋼	▲23.9	▲27.2	▲26.7	▲17.6	▲26.4	▲12.9	4.1	▲0.6
非鉄金属	▲27.8	▲18.5	11.4	59.2	▲7.5	20.2	3.7	0.6
金属製品	▲5.5	▲20.6	▲22.8	▲2.8	▲11.5	5.2	1.9	0.1
一般機械	▲20.3	▲24.5	▲22.3	▲10.5	▲27.0	▲13.0	20.9	▲3.0
電気機器	▲2.2	▲7.1	▲16.9	▲5.2	▲20.6	▲8.7	21.7	▲2.0
半導体等電子部品	11.4	3.4	▲19.1	▲4.9	▲19.6	▲7.6	7.6	▲0.6
IC	16.7	▲1.2	▲23.8	▲9.6	▲21.0	▲9.6	5.3	▲0.5
映像記録・再生機器	▲22.2	51.3	▲23.9	▲42.4	▲62.0	▲27.2	1.1	▲0.4
音響・映像機器の部分品	▲17.3	▲2.6	▲8.4	▲2.5	▲7.6	▲22.8	0.7	▲0.2
電気回路等の機器	▲9.6	▲15.6	▲14.0	▲9.9	▲19.9	▲2.1	3.9	▲0.1
輸送用機器	▲54.1	▲55.4	▲47.5	▲36.0	▲37.3	▲17.8	8.9	▲1.9
自動車	▲82.0	▲68.6	▲52.8	▲60.4	▲54.1	▲31.8	3.3	▲1.5
自動車の部分品	▲28.1	▲43.5	▲42.8	▲12.7	▲16.7	▲4.7	5.4	▲0.3
その他	7.1	6.7	▲3.0	24.4	▲8.7	10.7	12.8	1.2
科学光学機器	4.2	3.3	7.6	27.3	▲5.7	32.0	6.4	1.5

(出所) 財務省統計より大和総研作成